

科目名	学校教育学特講	担当者	クロダ ユキ 黒田 友紀	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	-----------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座は、学校教育をめぐる現状を把握し、現在の教師や児童生徒に関する問題について、教材や参考資料にもとづいて考察・分析したうえで問題を解決する方策を模索することによって、以下の能力を身につけることを目的とする。</p> <p>1) 客観的な情報や根拠にもとづいて、論理的、批判的な考察を加えることができる。</p> <p>2) 問題を分析し、現実に即した解決策や代替案を考えることができる。</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 学校教育をめぐる現状を把握し、現在の教師や児童生徒に関する問題について根拠を示しながら論理的・批判的な考察と分析を行い、代替案や解決策を模索し提案することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材から正しく情報を理解し、教師と児童生徒の問題について説明することができる。(知識) 教材や参考図書を活用し、批判的に分析を行うことができる。(技能) 計画的に学修に取り組み、常に「自分はどうか考えるか」を意識し、できるだけ他者と意見を交換し、コミュニケーションをとることができる。(態度・習慣) 		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】(自主研究・レポート作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館やインターネットを利用して、教材以外の論文や資料を検索して自主研究を進め、レポートを作成する。 レポート作成、推敲の過程において、manaba folio の受講生用の掲示板機能に届いた受講生からの質疑について、受講生全体に質疑応答の概要を公開する。 受講生どうしの意見交換やピア・レスポンスなどの協働的な学習を推奨する。 <p>【学修方略 (LS) と学修時間】(レポート作成)</p> <p>レポートの課題に取り組むにあたって、基本教材や参考図書を熟読し、課題に関する理解を深めて考察と分析を行うこと。レポート課題 1 つにつき、完成までに、基本教材および必要案な文献の学修 (20 時間)、レポートにまとめる (10 時間)、レポートの遂行と最終稿の完成 (manaba folio を通じた添削などを含む) (15 時間) を目安に、学修を進めること。</p>		
スケジュール	<p>前期：基本教材 1 の課題 1 は 6 月末、課題 2 は 8 月末までに初稿を提出し、いずれも、最終稿は 9 月の課題提出締切日までに提出すること。</p> <p>後期：基本教材 2 の課題 1 は 11 月末、課題 2 は 12 月末までに初稿を提出し、いずれも、1 月課題提出締切日までに提出すること。</p> <p>※担当者のコメントにもとづいて、修正した最終原稿を 9 月・1 月の課題提出締切日に提出すること。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80 %	テキストを正しく理解し、課題に適切に答え、内容を明確に記述していること。引用・参考文献なども適切に記載すること。
	観察記録	20 %	再提出レポートへのコメントを適切に理解し、アドバイスに沿って修正していること。
履修者への要望	<ul style="list-style-type: none"> 基本教材の理解を深め、課題に適切に答えること。 参考図書や必要な文献を積極的に活用して、考察を深めること。 レポートは、タイトルを付け、章 (や節) に適切に分け、明瞭にまとめること。 引用、参考文献については、最後に明記すること。 枚数は、最低でも 4 枚以上とする。 質問などがある場合は、そのままにせず、相談すること。 		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>著者名： 佐久間亜紀・佐伯胖 教材名： 『現代の教師論』 ミネルヴァ書房，2019年，ISBN：978-4-623-08536-1，2,000円＋税</p> <p>本教材は，現代の学校教育のなかで教職とはどういう仕事か，教師と学校をめぐる問題をどのように考えるかについて，さまざまなトピックを扱っている。序章および第Ⅰ部では，日本の教師と学校教育の現状がまとめられており，第Ⅱ・Ⅲ部では，学校教育における課題や問題がコンパクトにまとめられている。</p>
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・工藤勇一『学校の「当たり前」をやめた。一生徒も教師も変わる！公立名門中学校長の改革』（時事通信社，2018年）ISBN 978-4788715943，1,980円＋税 ・内田良，広田照幸，高橋哲，嶋崎量，斉藤ひでみ『迷走する教員の働き方改革—変形労働時間制を考える』岩波ブックレット（岩波書店，2020年）ISBN 978-4002710204，620円＋税 ・数見隆生『子どもの命と向き合う学校防災』（かもがわ出版，2015年）ISBN 978-4780307573 2,200円＋税 ・豊田豊『「葬式ごっこ」—八年後の証言』（風雅書房，1994年）ISBN 978-4894240339
履修上のポイント	『現代の教師論』の全体を読み，現在の日本の教師や学校をめぐる状況を把握し，学校教育における課題を理解すること。そして，教員の働き方改革，多忙化の解消，こどもの命を守ること，いじめに向き合うことのいずれかについて考察を深めてもらいたい。上記の参考図書以外にも，基本教材の章末に図書案内があるので，是非活用してほしい。
レポート課題 1	<p>序章，第3・4章を読み，日本の教師や学校をめぐる問題，特に教師が専門的な能力を生かすうえで障害になっている問題について説明し，考察を加えること。</p> <p>留意点：基本教材やその他の資料からの根拠も示したうえで論じること。</p>
レポート課題 2	<p>「働き方改革」（第6章），「多忙化の解消」（第8章），「子どものいのちを守ること」（第10章），「いじめに向き合う」（第11章）のなかから，最も関心のあるものを1つ取り上げて，現代の課題や問題をまとめたうえで，現状をよりよくするための方策や意見を述べること。</p> <p>留意点：根拠となる文章やデータにもとづいて，問題解決の方策や意見を展開すること。</p>

基本教材 2	
教材の概要	<p>著者名： 木村涼子・古久保さくら編著 教材名： 『ジェンダーで考える教育の現在：フェミニズム教育学をめざして』解放出版社，2008年，ISBN：978-4759267204</p> <p>本教材は出版から10年以上経過しているが，ジェンダーと学校教育をめぐる問題を考えるうえで示唆に富むテキストである。私たちが「何かおかしい」あるいは「あたりまえ」と思ってきたジェンダーの問題について，体育や生徒指導などの具体的な事例から提示してくれる。また，セクシュアリティの問題についても課題を投げかけている。</p>
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・はたちさこ，藤井ひろみ，桂木祥子編著『LGBT サポートブック：学校・病院で必ず役立つ』保育社，2016年，ISBN：978-4586085521 ・多賀太『男子問題の時代?:錯綜するジェンダーと教育のポリティクス』（学文社，2016年），ISBN 978-4762026348 ・黒田友紀「教師文化研究におけるジェンダー問題：男性教師研究に焦点をあてて」『教育學雑誌』第48号，1-14頁，2013年（J-STAGEよりダウンロード可能）
履修上のポイント	学校のなかにはジェンダー化されたルールや慣習がまだまだ存在し，気が付かないまま私たちの「当たり前」を形成していることがある。そうした「当たり前」を捉え直し，児童生徒が幸せに過ごすことのできる学校教育（そしてその先の市民生活）を考え，考察してもらいたい。基本教材2のテキストは2008年に刊行されているため，基本教材1の第12章も参考にしながら，ニュースやデータなどの最新情報をウェブ上で検索して，学校教育におけるジェンダー観やセクシュアリティの問題や課題を検討してほしい。
レポート課題 1	<p>第3～8章を読み，最も関心のあるものを1章分取り上げて，その内容を簡潔にまとめたうえで，ジェンダー化されている事柄に関する自分の意見と考察を加えること。</p> <p>留意点：自分の経験とも照らし合わせながら，根拠のある考察を行うこと。</p>
レポート課題 2	<p>学校教育における性の多様化とセクシュアリティの問題についてまとめ，現在の学校において，すべての児童生徒が快く過ごすために学校・教師ができることを具体的に提案すること。</p> <p>留意点：基本教材2の第7章および，基本教材1の第12章なども参考にするとよい。</p>

基本教材 1

第 1 回	教材の学修と課題の理解
第 2 回	基本教材 1 の学修：レポート課題 1 の該当部分のテキスト内容を把握する
第 3 回	基本教材 1 の学修：レポート課題 1 の該当部分の理解を深めて、内容をまとめる
第 4 回	基本教材 1 の学修：学校や教師に関する問題を挙げ、参考資料や検索した資料を参考に考察を行う
第 5 回	基本教材 1 の学修：レポート課題 2 の該当部分のテキスト内容を理解する
第 6 回	基本教材 1 の学修：レポート課題 2 の該当部分の理解を深めて、内容をまとめる
第 7 回	基本教材 1 の学修：取り上げる課題について、参考資料などを用いて考察を行う
第 8 回	レポートの説得性を増すために根拠となる資料やデータを探し、考察を行う。
第 9 回	レポート課題 1：初稿の作成
第 10 回	レポート課題 1：添削指導に対する修正稿の作成
第 11 回	レポート課題 1：最終稿の作成
第 12 回	レポート課題 2：初稿の作成
第 13 回	レポート課題 2：添削指導に対する修正稿の作成
第 14 回	レポート課題 2：最終稿の作成
第 15 回	レポート課題 1・2 を通じた、本課題に関する全体的な理解の検証

基本教材 2

第 1 回	教材の学修と課題の理解
第 2 回	基本教材 2 の学修：レポート課題 1 の該当部分のテキスト内容を把握する
第 3 回	基本教材 2 の学修：レポート課題 1 の該当部分の理解を深めて、内容をまとめる
第 4 回	基本教材 2 の学修：参考資料や検索した資料を参考に、ジェンダー化されている事柄について考察を行う
第 5 回	基本教材 2 の学修：レポート課題 2 を理解し、基本教材 2 および 1 を読んで内容を把握する
第 6 回	基本教材 2 の学修：レポート課題 2 の理解を深めて、内容をまとめる
第 7 回	基本教材 2 の学修：レポート課題 2 について、学校・教師ができることを具体的に考える
第 8 回	レポートの説得性を増すために根拠となる資料やデータを探し、考察を加える
第 9 回	レポート課題 1：初稿の作成
第 10 回	レポート課題 1：添削指導に対する修正稿の作成
第 11 回	レポート課題 1：最終稿の作成
第 12 回	レポート課題 2：初稿の作成
第 13 回	レポート課題 2：添削指導に対する修正稿の作成
第 14 回	レポート課題 2：最終稿の作成
第 15 回	レポート課題 1・2 を通じた、本課題に関する全体的な理解の検証